

# 年 頭 所 感

あけましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたり、皆様に所信を申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

のと立国1300年の節目の年、また平成最後の年となった平成30年は、冬の大雪や夏の猛暑、大雨、台風など気候の面で変調がみられたとともに、私ども地域金融機関にとっても総じて厳しい一年となりました。人口減少と少子高齢化という地域の構造的要因に加え、マイナス金利政策が基礎的な収益力を低下させる結果となっていることは間違いないところです。

私自身、昨年6月の総代会で現在の職に就任させていただき、その厳しさを肌身で感じる次第ですが、一方でその際に総代の方々にお約束した「お金をお貸しする前に知恵をお貸しする」（付加価値のある提案型営業）、「あんがと営業」（後々までお客様に感謝される商品紹介）、「森を育てる」（長期的な収益向上策）という視点はより重要なものになってきていると感じます。

幸いにも平成26年1月に発足した「ななお創業応援カルテット」の取組みは、本年で5周年を迎え、総数で172件の相談を受付し、76先の創業のお手伝いことができました。更に、日本政策金融公庫との連携による創業融資「夢WA+（ユメワタス）」の取組みも強化しました。また、新たに日本財団のわがまち基金を用いて過疎地域の面的再生事業にも取り組んでいるところです。それらの取組みは、仮に地域の構造的要因として定住人口の減少は避けられないとしても、事業化を通じ地域の交流人口の増加や経済の活性化を図るとの考え方に基づくものであり、当金庫の地域に対するプロデュース機能の発揮を目指すものであるといえましょう。

また従来以上に金庫からお客様に提供する各種金融サービスの質を高める工夫を続けます。事業先に対しては事業承継等のコンサルティング機能の強化に努めるとともに、そのサービスの対価として貸出金利息や手数料等を確保し、ボリューム中心の旧来型経営からの脱却と持続可能なビジネスモデルの構築を図り、金庫の収益性を高め、経営基盤を盤石なものとする必要があります。それは地域と共に歩み続けてきた当金庫が引き続き地域社会を持続可能ならしめるという社会的使命を全うするために、現在の「金融変革期」における最も重要な課題です。但し、こうした新たなビジネスモデルの構築は短期間で達成できるものではなく、何より役職員一人ひとりが地域金融機関としての原点と使命を心に刻み、自ら創意工夫して地域やお客さまの成長・発展に向けた金融仲介機能を着実に進化させていく心構えが不可欠です。

次に個人を含むすべてのお客様に対し顧客本位の業務運営を確立し、MA制度の活用や各種セミナーを通じNISAやiDeCo等によるお客さまの資産形成のお手伝いする提案や、キャッシュレス社会に対応するサービスの提供を行います。それ以外のICTの戦略的活用を含め、顧客チャネルの多様化と金融サービスの充実など急速に進展するデジタルイノベーションへの対応は「金融変革期」において当庫がスピード感を持って取り組むべき大きな課題です。

－ 理事長からのメッセージ －

一方で資金の効率的運用や業務運営の効率性向上を目指す店舗網の見直しなど将来の状況を踏まえた経営資源の再配置は早急に進めなければなりません。そのためには地域ごとの経済環境の違いを考慮した業務運営態勢の整備や情報の共有化を検討します。また地域の労働力不足の進行を見据え、生産性向上のための業務改革・事務効率化を促進するとともに、「働き方改革」や「ダイバーシティ」の推進を踏まえつつ、全役職員がそれぞれの立場で自らの仕事に働きがいを感じ、誇りを持って活躍できる態勢を構築していくことが何よりも重要だと考えます。もちろん以上の根底には、法令等遵守に基づく適切な業務運営や強固なリスク管理体制の構築が必要であることは言うまでもありません。

こうした認識のもとスタートする平成31年は、そのメインテーマを

**金融変革時代を勝ち抜くために**  
～ 「共通価値の創造」を目指して Step3 ～

と定め、次の基本方針を掲げることといたしました。

1. 課題解決に向けた付加価値の高い提案等、質の高い金融仲介機能を発揮することで、お客さまとの強固な信頼関係を構築し、金庫の収益性を高め、経営基盤を盤石なものとする。
2. 「顧客本位の業務運営」の浸透を図り、家計の安定的な資産形成をお手伝いする。
3. ICTの戦略的活用を研究、推進し、顧客チャネルの多様化と金融サービスの充実を目指す。
4. 地域ごとの業務運営態勢の整備を図るとともに働き方改革（生産性・効率性の向上）とダイバーシティを推進し、総活躍態勢を確立する。
5. 全金庫的な法令等遵守態勢の確立とリスク管理態勢の高度化を図る。

役職員の皆様には以上のことを十分に理解され、主体性と自律性を持って、心ひとつに取り組みられることを希望します。すなわちこれは地域社会の課題に対し、皆が各々の立場で考え、専心行動することを意味します。

本年が、役職員とご家族の皆様にとりまして、幸福で最良の年であるとともに未来への希望の年となりますよう心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

平成31年1月4日

理事長 鈴木正俊